



**J.H. Levyssohn**  
***Bladen over Japan***  
**The Hague, 1852**  
**J.H. レフィスゾーン『日本雑纂』**

本書は1845年から1850年にわたり長崎出島のオランダ商館長を務めたJ.H.レフィスゾーン(Joseph Henry Levyssohn, 1800-1883)による在任中の記録。第3章には、アメリカの法律家アーロン・パーマー(Aaron Haight Palmer, 1782?-?)から送られた書簡・文書が収められている。

パーマーは米国の貿易拡大等のための日本開国の必要性を唱え、議会・政府などに働きかけた人物。米国艦隊の日本遠征の実現に深く関わった。1850年1月付でオランダ商館長レフィスゾーン宛に送られた書簡・文書は、米国が日本への艦隊派遣と開国要求の計画を進めていることを示すものだった。

本書はレフィスゾーンの帰国後、1852年にハーグで刊行された。翌1853年、ペリー提督(Matthew Calbraith Perry, 1794-1858)率いる米国艦隊が浦賀へ来航。黒船来航に関わる第3章の内容は『レヒンヤツパン』等の書名で日本語にも翻訳された。